

I. 学会運営に関する報告

1. 主な会合

本期間中に通常総会を始めとし、次の会合を開催した。

(1) 総会

1) 通常総会

日 時 令和7年5月15日(木) 午後0時45分～1時35分

場 所 東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島1-7-5)

出席者 50名(出席者21名, 委任状提出者18名, 書面投票11名)

- 議 案
1. 令和6年度決算承認の件
 2. 定款及び細則変更の件
 3. 外部理事及び外部監事の報酬等の件
 4. 理事選任の件
 5. 監事選任の件
 6. 名誉会員推薦の件

- 報告事項
1. 令和6年度事業報告の件
 2. 監事監査報告

- 関連行事
1. 学会賞授賞式
 2. 学会功労者感謝状贈呈式
 3. 令和7・8年度新役員紹介
 4. 特別講演

演題 「第7次エネルギー基本計画について」

講師 資源エネルギー庁 小高 篤志

5. 出席者交流会

(2) 理事会 9回

(3) 総務・会計担当理事会 8回

(4) 学術・編集担当理事会 8回

(5) 事業担当理事会 8回

(6) 委員会等

1) 学術講演会運営委員会 3回

2) 2025年度日本冷凍空調学会年次大会実行委員会 2回

3) 2026年度日本冷凍空調学会年次大会準備委員会 2回

4) 空気調和・冷凍連合講演会運営委員会 2回

5) 事業委員会 2回

6) 北海道地区事業推進委員会 1回

7) 東北地区事業推進委員会 2回

8) 関東地区事業推進委員会 5回

9) 中部地区事業推進委員会	5 回
10) 近畿地区事業推進委員会	11 回
11) 西日本地区事業推進委員会	6 回
12) 出版事業委員会 (メール審議含む)	3 回
13) 冷凍技士運営委員会	6 回
14) 通信教育委員会	9 回
15) 規格制定委員会・ISO/TC86 国内分科会	2 回
16) 冷凍空調技術委員会	1 回
17) 食品技術委員会	2 回
18) 冷媒技術委員会・R23 代替冷媒に関する調査研究PJ	4 回
19) 圧縮機技術委員会	2 回
20) 次世代冷凍システム技術委員会	7 回
21) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会	2 回
22) 熱交換器技術委員会・カーボンニュートラルに向けた 先進熱交換器技術に関する調査研究PJ	4 回
23) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会・自然冷媒 システム調査研究PJ	4 回
24) 温暖化問題等対策検討委員会・冷媒容器管理システム 調査研究PJ	10 回
25) 学会誌編集委員会	7 回
26) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会	4 回
27) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会	2 回
28) 論文集編集委員会	2 回
29) 学会賞選考委員会	2 回
30) 学術賞分科会	3 回
31) 技術賞分科会	2 回
32) 優秀講演賞分科会	1 回
33) アジア学術賞選考委員会	1 回
34) 著作権委員会 (メール審議含む)	7 回
35) 戦略会議	(政策委員会に含む)
36) 政策委員会	5 回
37) 広報委員会・ウェブサイト連絡協議会	4 回
38) 保安委員会	3 回
39) 新冷媒評価委員会	2 回
40) 学会改革委員会	6 回
41) カーボンニュートラル 2050 委員会	1 回
42) 100 周年事業委員会・実行委員会	3 回
43) プロフェッショナルシンポジウム実行委員会	4 回
(7) 講演会 (学術講演会, 技術交流会等)	4 回

(8) 定例講習会, セミナー, シンポジウム, 見学会	38 回
(9) 通信教育講座 (6 月, 10 月コース)	2 回
(10) 資格試験, 検定試験	4 回

2. 役員会に関する事項

2025 年度中に理事会 9 回, その他担当業務毎に担当理事会を開催した。

適正な法人運営およびガバナンスの強化を図るため, 理事会及び各担当理事会の定期的な開催および資料の事前共有により, 法人の意思決定, 業務執行の監督及び重要案件の審議を適切に行っている。

理事会の主な議題は下記のとおりである。

- (1) 理事会・総会スケジュールおよび担当の件
- (2) 令和 8 年度事業計画の件
- (3) 令和 7 年度職務執行状況報告書の件
- (4) 令和 7 年度決算・事業報告および令和 8 年度活動計画・予算の件
- (5) 定款及び細則変更の件
- (6) 外部理事および外部監事の報酬の件
- (7) 特定費用準備資金変更案の件
- (8) 監査報告の件
- (9) 学会改革委員会報告の件
- (10) 学会書籍出版計画の件
- (11) 事業所別会員数の件
- (12) 学会規則改定の件
- (13) 学会賞の件
- (14) 事務局職員昇給及び夏期及び冬期一時金の件
- (15) 共催・協賛依頼承認の件
- (16) 月次決算報告の件
- (17) 毎月の入会者承認の件
- (18) 事業開催報告の件
- (19) 委員会開催報告の件
- (20) 高圧ガス保安協会表彰の件
- (21) 100 周年記念事業の件

3. 届出, 監査に関する事項

- (1) 行政庁届出, 登記事項

事 項	行政庁 届 出 日	宛 先
事業報告等の提出	2025 年 5 月 14 日	内閣総理大臣
事業計画書等の提出	2026 年 3 月 24 日	内閣総理大臣

- (2) 事業報告, 収支決算監査

日 時 2025 年 4 月 15 日 (火) 午後 3 時~4 時 30 分

場 所 学会会議室 (一部 WEB 参加)

出席者 四十宮正人, 平良繁治, 宮良明男 各監事
 齋藤潔 会長, 佐々木正信, 古庄和宏 各副会長
 佐藤晋一郎 理事
 内 容 令和6年度事業報告, 決算報告の監査

4. 会員動向

種 別	2026年3月31日現在	2025年3月31日現在
名誉・特別会員	12名	13名
賛助会員(団体)	10社	10社
第一種正会員(法人) 特級	6社	6社
A級	4社	4社
B級	16社	17社
C級	24社	24社
D級	190社	192社
(小計)	240社	243社
第二種正会員(個人)	3,090名	3,138名
学生会員	62名	55名

5. 代表会員, 理事, 監事に関する事項

(1) 代表会員

定款第11条に従い, 選挙により選出された代表会員は下記のとおりである。(2026年3月31日現在)
 任期: 2025年5月15日の通常総会~2027年5月の通常総会まで

北海道地区(定員2名)

小原 伸哉 北見工業大学 山本 吉照 三菱電機住環境システムズ(株)

東北地区(定員2名)

佐々木 直栄 日本大学 長根 靖浩 東北電力(株)

関東地区(定員21名)

皆瀬 匡由 三菱重工冷熱(株) 香川 澄 早稲田大学
 木下 英也 三菱電機ビルソリューションズ(株) 草部 隆弘 (株)ダイキンアプライドシステムズ
 久保 直樹 日立グローバルライフソリューションズ(株) 小嶋 満夫 東京海洋大学
 後藤 邦彦 東京電力エナジーパートナー(株) 齋藤 潔 早稲田大学
 白樫 了 東京大学 薛 しゅん (株)日立製作所
 大宮司 啓文 東京大学 田村 純人 東京大学医学部付属病院
 張 莉 (一財)電力中央研究所 豊島 正樹 三菱電機(株)
 中村 元 防衛大学校 中村 博 ダイキン工業(株)
 野中 正之 日立グローバルライフソリューションズ(株) 長谷川 泰士 三菱重工サーマルシステムズ(株)
 増田 哲也 パナソニック(株) 町田 明登 (株)前川製作所
 泰岡 顕治 慶應義塾大学

中部地区(定員8名)

内藤 宏治 日立グローバルライフソリューションズ(株) 木全 央幸 三菱重工サーマルシステムズ(株)

鈴木 秀明	日本キャリア(株)	寺岡 喜和	金沢大学
吹場 活佳	静岡大学	前田 剛志	三菱電機(株)
丸山 直樹	三重大学	渡邊 激雄	名古屋大学

近畿地区（定員 10 名）

浅野 等	神戸大学	伊與田 浩志	大阪公立大学
岩崎 正幸	日立グローバルライフソリューションズ(株)	狩野 剛一	長谷川鉄工(株)
佐多 裕士	三菱電機(株)	島崎 智史	関西電力(株)
鷺田 晃	パナソニック(株)	古庄 和宏	ダイキン工業(株)
峰松 徹	(株)前川製作所	涌井 徹也	大阪公立大学

西日本地区（定員 7 名）

井植 哲二	アイスマン(株)	酒見 和幸	(株)九電工
田中 史彦	九州大学	濱本 芳徳	九州大学
三重野 純	三菱電機(株)	宮良 明男	佐賀大学
山田 寛	岡山大学		

6. 役員に関する事項

理事，監事，業務執行理事は下記のとおりである。（2026年3月31日現在）

任期：2025年5月15日の通常総会～2027年5月の通常総会まで

① 理事

浅野 等	小嶋 満夫	齋藤 潔	大宮司 啓文	田中 史彦
張 莉	豊島 正樹	内藤 宏治	長根 靖浩	中村 元
中村 博	野中 正之	長谷川 泰士	鷺田 晃	古庄 和宏
前田 剛志	町田 明登	泰岡 顕治	渡邊 激雄	岸本 哲郎

② 監事

佐々木 正信	平良 繁治	関田 真澄
--------	-------	-------

③ 業務執行理事

会 長	齋藤 潔					
副会長（総務・会計担当）	渡邊 激雄					
〃（学術・編集担当）	田中 史彦					
〃（事業担当）	古庄 和宏					
理 事（総務・会計担当）	豊島 正樹	長根 靖浩	中村 博	野中 正之	長谷川 泰士	
〃（学術・編集担当）	大宮司 啓文	張 莉	内藤 宏治	中村 元	泰岡 顕治	
〃（事業担当）	浅野 等	小嶋 満夫	鷺田 晃	前田 剛志	町田 明登	

7. 事務局員に関する事項

2026年3月31日における事務局員は下記のとおりである。

事務局長	吉川 朝郁			
事務局員	古川 博雅	他 4 名		
嘱託職員	宇田 康雄	山口 昌之	西口 章	

II. 事業に関する報告

公益社団法人である学会は冷凍空調及び食品冷凍の国内唯一の学術団体として、定款第 4 条に定められた事業 (1) 技術普及及び技術者育成などの教育事業、(2) 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業、(3) 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業、(4) 資格認定及び表彰による学術評価事業、(5) その他定款第 3 条の目的を達成するために必要な事業を行った。

1. 技術普及及び技術者育成などの教育事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

実施にあたっては、講習会・セミナーの企画段階から内容の精査および講師選定の適正化を図るとともに、オンライン開催の活用や資料の事前共有により、受講者の利便性向上および運営の効率化を推進した。また、年次大会及び連合講演会についても関連委員会での審議を通じて学術発表の場の質を確保し、研究成果の公表機会の充実及び研究者・技術者間の交流促進に寄与している。

(1) 学術講演会運営委員会

学会の年次大会、空気調和・冷凍連合講演会等について審議をした。

- 1) 2025 年度年次大会および 2026 年度年次大会の進捗状況を確認
- 2) 空気調和・冷凍連合講演会の実施報告を確認

(2) 日本冷凍空調学会年次大会実行委員会 (2025 年度)

- 1) 2025 年度の年次大会を企画・運営

開催日：9 月 10 日～12 日、見学会は 9 月 9 日

会場：東京大学本郷キャンパス

名 称	発表論文数	開催日	開催地・会場	参加者数
2025 年度日本冷凍空調学会年次大会	202 編	2025. 9. 10 ～12	東京大学本郷キャンパス	818 名

(昨年度発表論文数：219 編)

(昨年度参加者数 626 名)

- 2) 見学会

「東京スカイツリータウン」

- 3) 若手技術者交流会

「若手技術者・研究者、学生を対象とした交流の場」

- 4) 企業展示 (実機展示, パネル展示)

- 5) 意見交換会 (東京ガーデンパレス)

(3) 日本冷凍空調学会年次大会準備委員会 (2026 年度)

2026 年度の年次大会について企画検討を実施した。

9 月 1～4 日に大阪公立大学森之宮キャンパス (大阪府大阪市) にて開催予定である。

(4) 空気調和・冷凍連合講演会運営委員会

1) 第 58 回空気調和・冷凍連合講演会 (2025 年度) を開催した。

(公社)日本冷凍空調学会 (幹事学会), (一社)日本機械学会, (公社)空気調和・衛生工学会, 共催

名 称	発表論文数	開催日	開催地・会場	参加者数
第 58 回空気調和・冷凍連合講演会	33 編	2025. 4. 17 ～18	東京海洋大学 越中島キャンパス海洋工学部 85 周年記念会館	82 名

2) 第 59 回空気調和・冷凍連合講演会 (2026 年度) 開催に向け, 次年度幹事学会 (日本機械学会) への引継ぎを行った。

(5) 事業委員会

各地区事業推進委員会と事業担当理事会と合同委員会を開催 (2 回) し, 情報共有・意見交換を行った。高圧ガス保安協会主催の第 1 種・第 2 種冷凍機械講習 (映像集合教育) 及び検定試験を受託し実施した。冷凍空調講習会等の定例講習会 (9 本) を計画通り開催した。第一種冷凍機械国家試験対策講習会を新設, 7 回の WG を開催し, 講師選定と資料作成を行い, 講習会を実施した。100 周年事業を中心に各地区委員会と連携して事業を行った。

1) 事業活動一覧表

① 技術交流会

名 称	発表論文	開催日	会場	参加者数
第 19 回中部地区技術交流会 冷凍空調機器の次世代冷媒の動向～ (中部地区事業推進委員会)	5	2025. 12. 17	東桜会館 第二会議室	48
第 25 回 西日本地区技術交流会 (西日本地区事業推進委員会)	12	2025. 9. 26	九州大学 筑紫キャンパス E 棟	29

小計 77 名

(昨年度件数 2 件, 参加者数小計 82 名)

② 定例講習会

No.	名 称	担当委員会	開催日	会場	受講者数
1	冷凍空調入門講習会	事業	2025. 5. 14	(公社) 日本冷凍空調学会 会議室+ライブ配信	20
2	初級冷凍空調講習会 名古屋 (冷凍編)	中部	2025. 6. 26	ダイキン工業名古屋ビル 大会議室	31
3	初級冷凍空調講習会 名古屋 (空調編)	中部	2025. 6. 27	ダイキン工業名古屋ビル 大会議室	28
4	冷凍空調初級ガイダンス講習会	事業	2025. 8. 6～ 8. 7	(公社) 日本冷凍空調学会 会議室+ライブ配信	37
5	第一種冷凍機械責任者資格取得講習会 (出前講習, ダイキン工業向け)	事業	2025. 9. 1～ 9. 2	ダイキン工業 TIC	54
6	実用冷凍空調講座【空調編】～設計事例で身につける, 湿り空気線図と空調システム～	近畿	2025. 9. 3～ 9. 4	大阪公立大学 文化交流センター+ライブ配信	13

7	第一種冷凍機械国家試験対策講習会	事業	2025. 9. 16～ 9. 18 (2025. 10. 10 ～11. 8)	(公社) 日本冷凍 空調学会 会議室+ ライブ配信(+オン デマンド配信)	10+(30)
8	実用冷凍空調講座【冷凍編】～設計 事例と冷凍システムの実務～	近畿	2025. 9. 17～ 9. 18	大阪公立大学 文 化交流センター+ ライブ配信	10
9	第二種冷凍機械国家試験対策講習会	事業	2025. 9. 29～ 10. 1 (2025. 10. 16 ～11. 8)	(公社) 日本冷凍 空調学会 会議室+ ライブ配信(+オン デマンド配信)	3+(31)
10	初級冷凍空調講習会 (冷凍コース)	事業	2025. 10. 13 ～11. 16	オンデマンド配信	11
11	初級冷凍空調講習会 (空調コース)	事業	2025. 10. 13 ～11. 16	オンデマンド配信	11
12	冷凍空調入門講習会(再配信)	事業	2026. 3. 2～ 3. 16	オンデマンド配信	12
13	冷凍空調初級ガイダンス講習会 (再配信)	事業	2026. 3. 16 ～3. 29	オンデマンド配信	12
14	サイエンス講座「冷媒の熱物性」	事業	2026. 3. 16～ 3. 30	オンデマンド配信	10

14件 小計 323名

(昨年度件数 12件, 受講者数小計: 309名)

③ セミナー, シンポジウム

NO	名 称	担当 委員会	開催日	開催地・会場	受講者数
1	【オンデマンド講習会】 テキスト「改訂 食品冷凍 技術」を読み解く	食品	2025. 4. 9～ 7. 31	オンデマンド配信	6
2	最新技術セミナー2024年 度省エネ大賞, 技術の決 め手はこれだ!	近畿	2025. 4. 22	大阪市立大学 文化交 流センター (Zoomによ るオンライン配信を併 催)	31
3	冷凍・空調機器における AI・IoTの将来展望と活 用事例 2022～2023年	事業	2025. 4. 25 ～6. 30	オンデマンド配信	4
4	初心者向け冷凍食品セミ ナー	食品	2025. 7. 11	ライブ配信	44
5	西日本地区さろんセミナ ー	西日本	2025. 8. 7	三菱電機 (株) 九州 支社	22
6	フリーズドライ食品の技 術動向と市場展望	食品冷凍 事業委員 会・ 冷凍技士 運営委員 会	2025. 10. 14	ライブ配信	43・ 27
7	冷凍空調業界における AI 画像解析の活用事例	関東	2025. 10. 15 ～11. 15	オンデマンド配信	19

8	2025 年度近畿地区シンポジウム「冷凍・空調・環境エネルギーの将来を展望する	近畿	2025. 11. 13	大阪市立大学 文化交流センター (Zoomによるライブ配信を併催)	36
9	技術セミナー (西日本地区) 持続可能な未来を拓く AI 活用—社会課題解決への挑戦	西日本	2025. 11. 21	ホシザキ北九(株)本社	21
10	食品冷凍の基礎～食品冷凍講習会	食品	2026. 1. 14	(公社)日本冷凍空調学会 (Zoomによるオンライン配信を併催) +オンデマンド配信	23
11	ヒートポンプ技術の最新動向	関東	2026. 1. 26	集合式：早稲田大学 西早稲田キャンパス オンデマンド配信	13 8
12	高効率ヒートポンプセミナー～カーボンニュートラルに貢献する冷媒とシステムの最新動向～	中部	2026. 2. 19	東桜会館	45
13	最新の冷媒問題への対応と展望 2025	関東	2026. 2. 27	集合式：早稲田大学 西早稲田キャンパス オンデマンド配信	31 25

13 件 参加小計 398 名
(昨年度 17 件 参加小計 493 名)

④ 見学会

NO	名 称	担当委員会	開催日	開催地・会場	受講者数
1	九州産業大学 大楠アリーナ 2020 施設見学会	西日本	2025. 5. 21	九州産業大学 大楠アリーナ 2020	17
2	第 61 回冷凍技士研修会「竹中技術研究所」	冷凍技士運営	2025. 7. 25	(株)竹中工務店 技術研究所	14
3	株式会社前川製作所守谷工場 見学会	関東	2025. 10. 1	(株)前川製作所守谷工場	19
4	「新千歳空港」エネルギー供給施設見学会	北海道	2025. 10. 31	新千歳空港	19
5	中京フロン本社工場見学会	中部	2025. 11. 21	中京フロン名古屋本社工場	26
6	仙台定禅寺ビル&アクアイグニス仙台&震災遺構 仙台市立荒浜小学校 見学会	東北	2025. 12. 4	仙台定禅寺ビル&アクアイグニス仙台&震災遺構 仙台市立荒浜小学校	14
7	昭和鉄工株式会社 施設見学会	西日本	2025. 12. 9	昭和鉄工(株)	17
8	新世代植物工場と先進的な研究の紹介～宇宙環境への展開・DX 技術の導入～	近畿	2026. 1. 14	大阪公立大学植物工場研究センター	15
9	東京電力ホールディングス株式会社 電気の史料館見学会	関東	2026. 2. 13	電気の資料館	9

10	第63回冷凍技士研修会 「東京ガス 横浜テクノ ステーション (メタネー ション施設)」見学会	冷凍技士 運営	2026. 3. 3	東京ガス 横浜テクノ ステーション	15
----	--	------------	------------	----------------------	----

10件, 小計 165名

(昨年度開催件数: 7件, 参加者数小計: 131名)

(6) 各地区(北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 西日本) 事業推進委員会

各地区の委員会にて, 事業活動計画を立案し, 講習会, セミナー等を開催した.

1) 北海道地区事業推進委員会

1回の委員会を開催し, 見学会および講演会を熱交換技術プロジェクトとの共催で実施した.

2) 東北地区事業推進委員会

2回の委員会を開催し, 100周年記念施設見学会を実施し, 今後の活動を検討した.

3) 関東地区事業推進委員会

5回の委員会を開催し, セミナー・見学会の実施について検討した.

4) 中部地区事業推進委員会

5回の委員会を開催し, 施設見学会, 初級講習会, 1回の技術交流会, 1回のセミナーを実施した.

5) 近畿地区事業推進委員会

11回の委員会を開催し, 1件のセミナー, 1件の講習会, 1件のシンポジウム, 1件の見学会&特別セミナーの開催を決定し, 実施した.

6) 西日本地区事業推進委員会

6回の委員会を開催し, 1件の技術交流会, 2件のセミナー, 1件の見学会を実施した.

(7) 食品冷凍事業委員会

実施するイベントの内容・担当者・活動日程を決めてセミナー・講習会を企画した.

(8) 出版事業委員会

1) 委員会(メール審議含む)を3回開催し, 専門図書の売上数・在庫数を鑑み, 販売形態含む出版計画の検討を行った。(改訂・増刷・絶版・電子書籍・オンデマンド等)

2) 受験参考図書「試験問題と解答例(令和6年度問題編入版)」を発行。(2025年4月)

3) 高圧ガス保安協会との共同本「第二種冷凍機械検定問題集 令和8年版」を発行。(2025年11月)

4) 高圧ガス保安協会との共同本「第一種冷凍機械検定問題集 令和8年版」を発行。(2026年2月)

5) 「日本冷凍史2025」を発行。(2025年7月)

6) 「初級標準テキスト 冷凍空調技術第5次改訂版(小改訂)」は, 2026年4月末発刊予定から改訂作業の遅れにより, 2027年4月末発刊へと延期を決定。併せてその間の増刷を計画した.

7) 図書販売強化活動として, 法人会員企業を訪問(2025年5月)し, 100周年会員入会キャンペーンと図書紹介を行った.

(9) 冷凍技士運営委員会

1) Newsletter No. 47, No. 48, 発行準備の他, 技士研修会や共催実施に向けて検討を行った.

- 2) 冷凍空調技士 70 周年・食品冷凍技士 60 周年記念催事（2026 年）について検討を行った。
- 3) 技士登録者数

種 別	2025 年度新規	2026 年 3 月 31 日現在 ()内は 2025 年 3 月 31 日時点
冷凍空調技士 第一種	28	1,101 (1,126)
第二種	51	773 (756)
食品冷凍技士	8	208 (216)
合 計	87	2,082 (2,098)

(10) 通信教育委員会

冷凍・空調・食品分野の初学者育成を目的として初級冷凍空調講座を開講し、添削指導の実施（6～10 月・10～2 月の年 2 回）と新規問題のブラッシュアップを主として行った。

- ・ 6 月コース 期間（令和 7 年 6～10 月）受講者 37 名 修了者 30 名(内 優秀者 12 名)
- ・ 10 月コース 期間（令和 7 年 10～令和 8 年 2 月）受講者 62 名 修了者 50 名(内 優秀者 14 名)
(昨年度受講者 6 月コース：56 名，10 月コース 51 名)

(11) 広報委員会

- 1) 学会ホームページ（一般向け・会員専用）の随時更新を行った。
- 2) メールマガジン発行（重要イベントについては臨時号を配信）。
- 3) 報道関係に学会 PR を行った。
- 4) バナー広告を募集した。

(12) 各種試験及びその講習会

冷凍機械講習，技術検定試験（東京）及び冷凍空調技士受験準備講習会，資格検定試験（東京・名古屋・大阪・福岡）を実施した。

1) 第一種冷凍機械講習，第二種冷凍機械講習および検定試験

① 第一種，第二種冷凍機械講習(web 参加者を除く)

NO	名 称	開催日	会 場	受講者数
1	第一種冷凍機械講習（集合講習）	開催せず	本会会議室	0
2	第二種冷凍機械講習（集合講習）	開催せず	本会会議室	0
3	第二種冷凍機械講習（集合講習）	2026. 2. 3 ～2. 5	本会会議室	1

総受講者数 1 名（昨年総受講者数 3 名）

② 第一種，第二種冷凍機械講習技術検定試験

No.	名 称	開催日	会 場	受検者数
1	第一種冷凍機械講習技術検定	2025. 5. 25	早稲田大学 西早稲田キャンパス	398
2	第二種冷凍機械講習技術検定	2025. 6. 29	早稲田大学 西早稲田キャンパス	124
3	第二種冷凍機械講習技術検定	2026. 3. 1	日本大学 タワー・スコラ	92

総受検者数 614 名（昨年総受検者数 522 名）

2) 冷凍空調技士受験準備講習会および食品冷凍講習会，資格検定試験

① 冷凍空調技士受験準備講習会，食品冷凍講習会

No.	名 称	開催日	会 場	受講者数
1	冷凍空調技士受験準備講習会(WEB)	2026. 2. 1～ 2. 14	オンライン (オンデマンド配信)	56
2	食品冷凍講習会 (Web セミナー)	2026. 1. 14～ 2. 14	オンデマンド配信	32

総受講者数 88 名 (昨年度総受講者 102 名)

② 資格検定試験

NO.	名 称	開催日	場 所	受験者数 () は受験申込者数			
				第一種	第二種	食品	合計
1	冷凍空調技士 食品冷凍技士	2026. 2. 15	東 京	28 (42)	70 (80)	12 (14)	110 (136)
2			名 古 屋	14 (26)	23 (28)	2 (2)	39 (56)
3			大 阪	20 (22)	23 (32)	5 (6)	48 (60)
4			福 岡	9 (11)	20 (25)	1 (1)	30 (37)
			合 計	71 (101)	136 (165)	20 (23)	227 (289)

総受験者数 227 名 (昨年総受験者数 229 名)

2. 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業

本事業を実施するために，次の委員会活動等を行った。

国際会議および海外学術団体と連携し，情報を共有することで円滑な事業運営に努めた。また，学生の海外派遣の実施により若手技術者に海外での研究発表の機会を提供し，次世代育成に努めている。

(1) 国際委員会

- 1) 今年度より理事会直轄の組織として，国際委員会を位置づけることとなった。学術・編集担当理事会関連の委員会等とは引き続き，連携して活動していく。
- 2) 国際連携の全体像を整理した。国際連携強化のための今後の進め方について検討した。
- 3) 2025 年 8 月，ACRA2026 基調講演 1 件を東京大学 大宮司先生に依頼した。
- 4) IIR World Refrigeration Day Event 2025(6 月 18 日)に招待を受けて，齋藤会長が出席した。
- 5) 2025 年 9 月，JSRAE 年次大会にて，SAREK，TSHRAE，CAR からの学生を招待した。また，上記 3 学会およびベトナム冷凍空調学会 (VISRAE) との交流会を実施した。
- 6) 2025 年 10 月 27 日，ASHRAE 会長一行との交流会を実施した。

(2) プロフェッショナルシンポジウム実行委員会

委員会を 4 回 (2025 年 3 月，5 月 14 日，28 日，7 月) 開催し，以下の協議を行った。

- 1) 日冷工とのステアリングミーティングを行い，HVAC&R 連携について打合せを行った。
- 2) プロシンプ具体的内容検討，日冷工とのステアリングミーティング報告，年次大会でのパネルディスカッション，その他について協議，検討した。
- 3) これまでの実行委員会での検討内容，学会・日冷工間での協議の経緯報告，運営方針の決定 (開催の可否も含めて)，プロシンプ開催概要，具体的候補者等の検討 (開催決定の場合) について協議，検討した。その結果，2028 年に国際会議として実施することとした。

(3) IIR 日本国内分科会

- 1) IIR 各種委員会への出席（国際冷凍会議）がパリで開催された(2025年6月17日～20日)．運営委員会，出版分科会に委員として，科学技術審議会にオブザーバーとして，執行委員会に日本代表者として出席した．
- 2) 上記期間に開催された，IIR World Refrigeration Day Event 2025(6月18日)に招待を受けて出席した．水産庁からの依頼で，本イベントへの出欠，メッセージの作成等に関する調整を行った．
- 3) IIR 各種定例会議に現地パリにて出席した．(2025年6月) PSC, MC Meeting, STC Meeting, EC Meeting.
- 4) IIR 各種定例会議および ICR2027 会場視察に現地韓国・ソウルにて出席した．(2026年2月) STC, PSC Meeting, STC-MC Meeting, MC, STC-MC Meeting, ICR2027 会場 (COEX) 視察.
- 5) 上記定例会議とは別に開催された MC Meeting にオンラインで出席した．(月1, 2回)

(4) ASHRAE 日本国内分科会

ASHRAE との連携活動を推進した．

- 1) ミラノで開催されたヨーロッパの国際会議 REHVA (2025年6月2日)に参加し，期間中に開催された AASA 会議に参加した．
- 2) 本学会の 100 周年に関して，ASHRAE 会長のビデオメッセージを，ASHRAE 副会長の Jeff H.Littleton 氏から手書きのメッセージカードと記念盾を受け取った．
- 3) ラスベガスで開催された ASHRAE Winter Conference (2026年1月31日～2月4日)に参加し，期間中に開催された AASA Leadership/Subcommittee 会議，および AASA 全体会議に参加した．

(5) アジア関連学会連携分科会

アジア地区関連学会 (CAR, SAREK, TSHRAE) との連携を推進した．

- 1) 韓国および台湾で開催される学会に派遣する学生 (2024 年度優秀講演賞受賞者) の調整を行い，2 名を選出した．(1 名は 6 月の SAREK, 1 名は 10 月の TSHRAE の大会に派遣することが決定)
- 2) SAREK Summer Conference(2025年6月18日～20日)に派遣した学生 1 名が講演を行った．また九州大学の Kyaw Thu 教授が参加した．
- 3) 東京大学で開催した年次大会(2025年9月10日～12日)に際し，CAR, SAREK, TSHRAE に参加案内を依頼し，各学会から学生や教員が参加した．また，年次大会に参加した CAR, SAREK, TSHRAE の代表者と情報交換を行った．
- 4) 台湾台北市で開催された TSHRAE Annual Conference (2025年10月16日～10月18日)に，本学会の 2024 年次大会で優秀講演賞を受賞した学生 1 名を選出して派遣した．

3. 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

委員会および分科会における検討体制の明確化と役割分担の整理を行い、効率的な調査研究の推進を図った。また、学会誌の継続的な発行により研究成果の公表および技術情報の普及が図られ、当該分野における知識基盤の強化および学術的発展に寄与している。

(1) 規格制定委員会

- 1) JIS 見直し：日本冷凍空調工業会等へヒアリングを実施し、JIS B 8240「冷凍用圧力容器の構造」の見直しを JSA へ回答。JSA 公募制度に応募済（2026 年 2 月 13 日）。
- 2) 学会規格（JSRAE S）の制定に向けた検討：関係団体のニーズや最新の技術・製品を反映させた改訂、新規制定の検討。ニーズがある場合は、分科会を立ち上げ新規規格を制定する。現時点で最新の技術・製品による新規規格の制定はない。

(2) ISO TC86 国内分科会

- 1) 第 1 回国内分科会を開催（2025 年 7 月）し、TC 86 および TC 86 傘下の各 SC の状況報告、主査の引継式を実施した。
- 2) 第 2 回国内分科会を開催（2026 年 2 月）し、TC 86 および TC 86 傘下の各 SC の状況報告および日本方針について議論を行った。
- 3) ISO/TC 86/SC 8/TF 3 のオンライン会議（2025 年 5 月、10 月）を主催し、Technical Report ドラフトの内容を議論した。
- 4) ISO/TC 86/SC 1/WG 1（2026 年 1 月、米国ネバダ州ラスベガス）に出席し、ISO 5149 改定作業を実施した。
- 5) ISO/TC 86/SC 8/MA の TF 会議（2025 年 5 月、2026 年 2 月、3 月）に参加して、冷媒の安全性等級および ISO 817 改定の議論を実施した。

(3) 保安委員会

委員会を 3 回（令和 7 年 10 月、12 月、令和 8 年 3 月）開催し、以下の協議を行った。

- 1) 保安委員会を 3 回開催。日冷工機械安全委員会での冷凍保安に関する事項の共有、KHK 評議員会議での報告事項の共有、高圧ガス保安法関連の告示に関する修正内容についての協議、高圧ガス保安法関連の省令改正内容の共有、冷媒フロン取扱者の推移確認等を委員会内で行った。
- 2) 高圧ガス保安協会評議員会議へ出席（令和 7 年 6 月、12 月）。令和 6 年度の事業報告案および決算案、会長及び監事候補者の選任、次期評議員の選挙について議決を行った。また、水素・CGS の社会実装に向けた取り組み、韓国ガス安全公社との水素等の安全に関する作業部会活動や温室効果ガス排出量検出事業への取り組み等の情報共有を行った。
- 3) 新冷媒評価委員会（令和 7 年 8 月開催）審議において、冷媒定数標準値を算出、確定した。

(4) 新冷媒評価委員会

委員会および WG をそれぞれ 1 回（令和 7 年 8 月、10 月）開催し、以下の協議を行った。

- 1) 新冷媒評価委員会を開催し、1 件の新冷媒申請を受理し可燃性区分等の評価を行った。さらに、

評価を完了した新冷媒評価結果については、①新冷媒の加害性区分 ②FC 容器の種別判定 ③冷媒定数の標準値をホームページに公開した。

- 2) 運営規則の見直しの必要性が生じ、委員長、副委員長、保安委員長、関連委員、事務局長で WG を構成し、意見交換した。修正が必要な本質箇所は、守秘義務の厳格化と配布資料の管理であり、次回以降は原則対面での開催とし、オブザーバー参加希望者には、守秘義務誓約書を提出させることとした。

(5) 温暖化問題等対策検討委員会

委員会として WG の活動を支援した。特に冷媒回収・再生に関する調査活動を推進した。

- 1) 温暖化問題に係わる新たな課題抽出の調査、対策の検討、情報発信を産官学の関連団体との連携を図り行った。
- 2) 「冷媒再生の動向（再生量、冷媒ごとのマスバランス）」等について報告、議論した。
- 3) 「冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト」活動への協力および管理を行った。

(6) カーボンニュートラル 2050 委員会

委員会および幹事会を開催し、以下の協議を行った。

- 1) 幹事会を開催し、今年度活動、予定他について検討した。
- 2) 委員会を開催し、「各分科会の活動報告書」の最終版取りまとめと学会 HP 掲載、鉄鋼協会雑誌「ふえらむ」掲載の学会投稿文、および、高圧ガス協会「高圧」掲載の委員会活動関係投稿文を学会 HP に転載する件について検討し、実施した。
- 3) 委員会活動（冷媒管理および冷媒容器管理システム）の発表
 - ・ UNEP 共催第 21 回欧州会議（ミラノ）にて発表。
 - ・ 日本冷凍空調工業会主催「環境と新冷媒国際シンポジウム 2025」ポスターセッション発表・出展。
 - ・ HVAC&R JAPAN 2026 セミナーにおいて、「持続可能な冷媒管理の実現に向けて」を発表。

(7) 冷凍空調技術委員会

各技術委員会の活動進捗の確認及び報告書の作成を行う。また、各技術委員会の主な活動報告は下記のとおりである。

- 1) 食品技術委員会
 - ・ 年次大会でのオーガナイズドセッション「食品および生物に関する低温利用技術」を企画した。
- 2) 冷媒技術委員会
 - ・ 年次大会における、OS「冷媒の熱物性」を企画した。
 - ・ 「R23代替冷媒に関する調査研究プロジェクト」を4回開催し、講演会、施設見学会および全体討議を行った。また、年次大会における、WS「R23代替冷媒の開発動向」を企画した。
- 3) 圧縮機技術委員会
 - ・ 委員会を開催し、年次大会における「圧縮機セミナー」「OS：圧縮機の最新技術と将来展望」の企画などを行った。

4) 熱交換器技術委員会

- ・ 産学連携の調査研究プロジェクト「カーボンニュートラルに向けた先進熱交換器技術に関する調査研究」の開催に合わせて、4回の幹事会、委員会を開催した。
- ・ 年次大会（2025年9月開催）においてWSでの基調講演1件、一般講演7件の開催、OSでの基調講演1件、一般講演23件の企画運営を行った。

5) 次世代冷凍システム技術委員会

- ・ ハイブリッド会議にて、新委嘱委員への引継ぎおよび下記委員会活動を行った。
- ・ 年次大会に向けて下記企画を実施した。OS-9「次世代冷凍システム技術」15編
- ・ 100周年事業委員会・実行委員会において、「次世代冷凍システム技術委員会」が担当する「冷凍空調機器類等」の原稿執筆を担当。校正と読み合わせを遂行、該当の書籍は2025年7月に「日本冷凍史2025」として発行された。

6) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会

- ・ セミナー「熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用」実施に向け企画した。
- ・ 年次大会でOS「デシカント・吸着・吸収・ケミカル系の技術」およびWS「熱利用技術の先端研究と将来展望」を企画した。

7) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会

委員会を4回開催した。

（東芝エネルギーシステムズ京浜事業所，早稲田大学 西早稲田キャンパス，松山市駅前カンファレンスセンター，産総研うめきたサイト）

8) 着霜・除霜系技術委員会

- ・ 2025年度年次大会において、オーガナイズドセッション「霜雪氷の諸現象と利用技術」を開催し、2セッションで5講演を実施した。
- ・ 2026年度年次大会のオーガナイズドセッション「霜雪氷の諸現象と利用技術」が企画され、オーガナイザが選出された。

9) 調査研究プロジェクト

① カーボンニュートラルに向けた 先進熱交換技術に関する調査研究プロジェクト

- ・ 官学側幹事20名，企業側委員23名（22社），うち企業側幹事8名による調査研究を行った。
- ・ 先進熱交換技術に関して研究者側委員と特別講師による最新研究動向の提供・情報発信を行い，さらに討議により熱交換技術の方向性などを検討した。
- ・ 調査研究の委員会は2025年6月，9月，12月，2026年3月の4回開催し，話題提供を目的とした講演会，国際会議報告，さらには見学会，意見交換会を行った。

② 自然冷媒システム調査研究プロジェクト

- ・ 参加企業10社，学術研究機関委員9名による調査研究を行った。
- ・ 2025年6月，9月，11月，2026年3月に委員会を開催した。

③ R23 代替冷媒に関する調査研究プロジェクト

- ・ 参加企業 13 社，学術研究機関委員 6 名による調査研究を行った。
- ・ 2025 年 6 月，9 月，12 月，2026 年 3 月に委員会を開催した。

④ 冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト

- ・ 参加企業 13 社（21 名），学術研究機関委員 4 名による調査研究を行った。
- ・ 2025 年度内において 10 回の全体会議とメール審議、幹事会を適宜開催

(8) 学会誌編集委員会

1) 学会誌「冷凍」・2025 年度 11 冊を発行した。

- ・ Vol. 100 No. 1164～1172，Vol. 101 No. 1173～1174
発行部数：23,675 部，総ページ数：572 ページ（本文）
- ・ 10 回の特集を実施した。

4. 資格認定及び表彰による学術評価事業

本事業を実施するために，次の委員会活動等を行った。

資格認定および表彰の審査手続について，公平性・透明性の確保を重視し，審査基準の明確化および審査体制の整備を行った。また，論文集の発行および査読を通じて，研究成果の質の確保と公正な学術評価が行われ，当該分野における研究水準の向上および学術的信頼性の確保に寄与している。

(1) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会

2025 年度の冷凍空調技士試験用の問題を作成し，冷凍空調技士試験を実施した。

(2) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会

2025 年度の食品冷凍技士試験用の問題を作成し，食品冷凍技士試験を実施した。

(3) 論文集編集委員会・論文集運営推進検討分科会

論文集 Vol. 42, No. 2-4 および Vol. 43, No. 1 を発行した。

論文集発行部数：1290 部，掲載論文数：33 編，本文の総ページ：361 頁

1 年前に発行した論文を J-STAGE にて本公開した。

(4) 学会賞選考委員会

学術賞，技術賞，研究奨励賞，優秀講演賞，会長奨励賞の審議，決定，理事会への上程を行った。

なお，会長奨励賞以外の授賞候補者選考は，各分科会が以下の活動にて行った。

1) 学術賞分科会

学会賞選考委員会内規に基づいて，2025 年刊行の日本冷凍空調学会論文集 Vol. 42, No. 1～4 に掲載された論文を厳正審査し，学術賞候補として 3 件を選定した。

また，研究奨励賞に応募があった業績を厳正審査し，3 件を学会賞選考委員会に上程した。

2) 技術賞分科会

学会誌, HP, 代表会員宛メーリングリスト, メールマガジン, 講演会などによる公募を行い. 5件の応募があった. 各委員による採点をもとに候補を絞り, 実機審査先として3件を選定し, 実機審査を実施した. この3件について審議し, すべてを候補に決定し, 学会賞選考委員会へ上程した.

3) 優秀講演賞分科会

2025年度年次大会で発表された講演202件のうち年齢35歳未満の80名を審査対象とし, 厳正なる審査の結果, 授賞候補者8名を決定し, 学会賞選考委員会に上程した.

令和7年度日本冷凍空調学会賞は以下のとおり.

《学術賞》

No.	論文名	受賞者名	掲載論文集
1	第2法則効率を用いた産業用ヒートポンプのCOP簡易相関式	甲斐田 武延・森 昌司	日本冷凍空調学会論文集 Vol.42, No.2 (2025), pp.93-109.
2	HF0-1123/R 744の固液平衡特性および低温用カスケードサイクルに用いた場合の性能評価	小川 康太・森崎 弘太郎・三好 航平・森啓太・近藤 智恵子	日本冷凍空調学会論文集 Vol.42, No.2 (2025), pp.83-91.
3	空調機用エミュレーター式負荷試験法の計測精度向上策 ー装置の遅れ時間を改善するフィードフォワード制御の開発ー	ジャンネッティ ニコロ・ソラフディン・水野 亜杜・宮岡 洋一・清 雄一・榎木 光治・齋藤 潔	日本冷凍空調学会論文集 Vol.42, No.2 (2025), pp.47-59.

《技術賞》

No.	件名	受賞会社名	受賞者名
1	ビル用マルチエアコン室外機に搭載した鉛直アルミ扁平管熱交換器	三菱電機(株)	八柳 暁・小池 孝典・鳩村 傑・尾中 洋次・岸田 七海
2	ICT装置用空調機「FMACS-VI(M)」	株NTTファシリティーズ/ダイキン工業(株)	二渡 直樹・館林 恵介・山根 一樹/荘司 典孝・池谷 ちなみ
3	R290対応冷凍・冷蔵切替平形内蔵ショーケース(SVシリーズ:フリエコ)	三菱電機冷熱応用システム(株)/三菱電機(株)	山本 裕章・保坂 恵子・杉本 猛・増田 将斗/佐々木 亮

《研究奨励賞》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	Performance of the ground-source heat pump system for hot water supply with a small refrigerant charge	神山 将太郎	東京海洋大学大学院
2	空調用プロペラファンの高性能化に関する研究	畠中 貴翔	三菱電機(株)
3	金属積層造形ミニチャネル熱交換器の熱流動特性に関する研究	齋藤 慎平	国立研究開発法人産業技術総合研究所

《優秀講演賞》

No.	論文名	受賞者名	所属
1	非共沸混合冷媒の冷凍機油に対する溶解特性	有賀 弘晟	静岡大学大学院
2	マクロ撮影による霜結晶の観察	宗清 皇輝	関西大学大学院
3	可食性コーティングによるバナナの追熟制御	石河 咲希	九州大学大学院
4	多層カーボンナノチューブ (MWCNT) を用いた光熱超撥水性表面の開発	両角 友葵	福井大学大学院
5	Investigation of the chain length dependency for EOS mixing parameters in asymmetric n-alkane mixtures	SCHNEEGANS Felix Marcel	TU Dresden
6	Second Law Analysis towards Defining Control Methods of Refrigeration Systems	GILBRIDE Sean	早稲田大学大学院
7	HFO 冷媒不均化反応のメカニズムおよび抑制技術に関する研究	村上 光	パナソニック(株)
8	冷凍冷蔵・空調機器等の為の小売り店舗の EMS に関する実験の進捗	仲井 悠貴	富士電機(株)

《会長奨励賞》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	リキッドデシカント外調機の最適運転に関する研究	前田 健人	早稲田大学大学院
2	スクロール圧縮機羽根間油膜圧力とそれを用いた軸芯軌跡に関する研究	野間 健吾	大阪電気通信大学大学院
3	水平細径管内における冷媒 R1234yf/冷凍機油の沸騰熱伝達に関する実験的研究	矢野 智大	東京海洋大学大学院
4	疎水性伝熱面における液滴の蒸発挙動に関する研究	伊藤 優太	福井大学大学院

(5) アジア学術賞(AAA)選考委員会

CAR 推薦および SAREK 推薦については、それぞれの会長より、以下のとおり報告があった。

《アジア学術賞 (JSRAE 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	冷凍・空調用圧縮機における先進的研究開発と製品化	東條健司	早稲田大学／東條技術士事務所

《アジア学術賞 (CAR 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	論文「Innovation and application of Thermoacoustic and mixed-gas J-T refrigeration technology」における、卓越した学術研究	Luo Ercang	Technical Institute of Physics and Chemistry of the Chinese Academy of Sciences

《アジア学術賞 (SAREK 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	論文「Analysis and modeling of paired droplet evaporation on heated substrates considering vapor -shielding and natural convection effects」における、卓越した学術研究	Seong Hyuk Lee	School of Mechanical Engineering, Chung-Ang University

(6) 著作権委員会

- 1) 出版物やホームページに掲載される論文等の著作物の利用許諾やその著作権に係る事項の審議を、著作物利用許諾ガイドラインに従い行った。4件の転載許諾申請があった。
- 2) 著作権譲渡に関する学会の方針について、学会セミナー開催におけるセミナー講師への著作権譲渡の説明について審議を行った。

(7) 継続教育センター（教育制度再構築分科会含む）

- 1) 日本工学会 CPD プログラム委員会（2025年8月18日、2026年1月19日、2月25日）に出席、参加団体の CPD プログラムへの取り組みについて情報収集を行った。
- 2) 第1回CPD協議会公開シンポジウムにweb出席、情報収集を行った。

(8) 冷凍機器溶接士の申請

高圧ガス保安協会へ32名の申請を行った。

5. 学会運営ならびに理事会直轄委員会

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

各委員会の適切な開催により重要事項の審議および意思決定の適正化を図るとともに、規程の整備および見直し、情報公開の充実等を通じて、ガバナンスの強化および説明責任の向上に努めた。

また、対外的な活動を通じて、関係団体との連携強化および学会のプレゼンス向上に取り組んでいる。

(1) 戦略会議

- 1) 第1回理事会（令和7年5月）において、「日本冷凍空調学会ビジョン100th」関連資料の内容を共有した。
- 2) 第1回（令和7年6月）および第2回（令和7年7月）会長・副会長会議において、学会改革案の内容と実施に向けた検討を行い、第2回および第3回理事会において、検討の概要を紹介した。
- 3) 学会改革委員会を組織し、戦略会議で当初実施予定の項目は、学会改革委員会において議論した。

(2) 政策委員会

- 1) 入会キャンペーン活動の検討、個人/法人会員増員のためのキャンペーン活動、100周年記念行事企画100周年記念行事企画WGサポート等、研究費助成・基金の検討等を実施した。
- 2) 研究費助成・基金については、100周年記念ヒートポンプ研究支援事業として実施することとした。6/17および7/18の政策委員会で実施案を検討し、7月・8月の100周年記念事業委員会・実行委員会、会長・副会長会議、理事会で内容を審議し100周年記念ヒートポンプ研究支援事業、公募要項およびヒートポンプ研究支援事業助成規程を制定した。
- 3) 当初実施予定項目としていた財務基盤の強化、安定的な会員増および支出抑制、学会活動の分野拡大・強化、他学会との連携強化については、会長・副会長会議、戦略会議、学会改革委員会で議論することとした。

(3) 学会改革委員会

委員会を6回(2025年9月, 10月, 12月, 2026年1月, 2月, 3月)開催し, 以下の協議を行った。

- 1) 100周年を機に「持続可能な学会」としての姿を再定義し, その実現に向けて中長期ビジョンの策定を行った。
- 2) 中長期ビジョンの実現に向けた取り組みの一環として, 定款の一部改定を以下の観点から検討した。
 - ・ 学会の目的の明確化(学会のあるべき姿や会員のニーズに即した方向性の再整理)
 - ・ 将来を見据えた学会運営体制の強化
 - ・ 責任と権限の明確化によるガバナンスの強化
 - ・ 細則および関連規則の迅速かつ柔軟に改定できる制度設計の構築
 - ・ 財務基盤の改善と運営の安定化

(4) 100周年事業委員会・実行委員会

委員会を3回(令和7年4月, 6月, 8月)開催し, 以下の協議を行った。

- 1) 以下に記載する事業についてWGを設置, 「先進ヒートポンプ技術が冷凍・空調・加熱の新時代を拓く」をスローガンに推進し, 完了した。
- 2) 100周年記念事業ウェブサイトを開設し, 記念事業の発信や協賛金・寄付金募集などを行った。
- 3) 記念事業協賛金・寄付の募集を行い, 34法人から協賛金, 36名から寄付をいただいた。
- 4) 「日本冷凍史2025」を7月に発刊。1998年発刊の「日本冷凍史」以降の技術進展を網羅した。
- 5) 年次大会実行委員会と連携し, 令和7年9月12日に関係団体や歴代会長ら招待を招待し, 100周年記念式典を開催した。
- 6) 100周年記念コースターを作成。個人寄付者, 総会参加者, 年次大会参加者に贈呈した。
- 7) ヒートポンプに関連した冷凍空調分野(食品冷凍・冷蔵, 空調, 加熱など)に関する大学の若手研究者支援を目的に100周年記念ヒートポンプ研究支援事業を設立した。初回は1件の応募を審査し, 承認した。本支援事業は, 次年度以降も継続する。
- 8) 100周年記念入会キャンペーン, 100周年記念見学会, 冷凍空調便覧の贈呈を事業推進委員会や学術編集委員会と連携して実施した。

(5) その他

- 1) 令和7年度中に依頼を受けた主な協賛, 共催, 後援名義使用について

NO.	協賛 共催 依頼団体	行事名	開催日
1	協賛 (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	2025年度「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」及び「蓄熱技術研修会」	2025.5月 ～2026.1月
2	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	食品冷凍技術基礎セミナー～冷凍食品の品質変化とその対策～	2025.5月 ～2026.1月
3	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	食品冷凍品質保証基礎セミナー～冷凍食品の種類と関連法令～	2025.6月 ～2026.2月
4	協賛 日本ヒートアイランド学会	熱中症予防対策に関するシンポジウムその2	2025.6.11
5	協賛 (一社) 日本機械学会	流体力学基礎講座 -基礎学理から数値流体力学・流体計測の基礎と実例まで-	2025.6.19～20
6	協賛 日本熱測定学会	熱測定講習会 2025	2025.6.20, 7.4, 7.18, 8.26

7	協賛 (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	ヒートポンプ・蓄熱月間	2025. 7. 1～31
8	協賛 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム	令和7年度ヒートアイランド対策技術セミナー	2025. 7. 8
9	協賛 (公社) 日本伝熱学会	第12回「伝熱工学の基礎」講習会	2025. 7. 25
10	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	2025年度食品冷凍基礎技術実習 ～凍結点・凍結必要時間の測定と応用～	2025. 7. 30
11	後援 (一社) 大日本水産会	第27回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」	2025. 8. 20～22
12	協賛 (一社) 日本機械学会	実験流体力学 流体計測の基礎	2025. 8. 28
13	協賛 (一社) 日本機械学会	「伝熱工学資料 (改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	2025. 9. 17～18
14	協賛 日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会第20回全国大会	2025. 9. 19～21
15	協賛 日本熱測定学会	第61回熱測定討論会	2025. 9. 24～26
16	協賛 (一社) 日本エレクトロヒートセンター	JEHC カーボンニュートラル支援講座 (WEBセミナー)	2025. 10. 2, 2026. 2. 20
17	協賛 (一社) 日本機械学会	熱工学コンファレンス 2025	2025. 10. 4～5
18	協賛 日本熱物性学会	第46回日本熱物性シンポジウム	2025. 10. 8～10
19	協賛 (一社) 日本エレクトロヒートセンター	第20回エレクトロヒートシンポジウム	2025. 10. 20 ～11. 30
20	協賛 (公社) 空気調和・衛生工学会	令和7年度技術講演会 (東京/オンライン) 「令和6年度 技術賞・振興賞受賞業績の紹介」	2025. 10. 22
21	共催 (一社) 日本機械学会	第11回日韓機械学会合同・熱流体国際会議	2025. 10. 22～25
22	後援 (一社) 日本機械学会	第18回新☆エネルギーコンテスト	2025. 10. 25
23	後援 (一社) 日本建築学会	第21回建築設備シンポジウム「環境建築とDecarbonization」	2025. 10. 31
24	協賛 日本銅学会	第65回講演大会	2025. 10. 31～ 11. 2
25	協賛 (一社) 日本太陽エネルギー学会	2025年度日本太陽エネルギー学会研究発表会	2025. 11. 2～3
26	協賛 (一社) 日本機械学会	講習会「プラントの熱流体力学 - 混相流・配管流れ・安全設計 -」	2025. 11. 7
27	後援 (公社) 日本工学会	2025年度第1回CPD協議会公開シンポジウム ～生成AIが切り拓く学びの未来 工学人材の生涯教育に向けて～	2025. 11. 21
28	協賛 日本潜熱工学会	第14回潜熱工学シンポジウム	2025. 11. 26～27
29	協賛 (一社) 日本機械学会	2025年度計算力学技術者 (CAE技術者) 資格認定事業	2025. 11月～12月
30	協賛 (一社) 日本機械学会	講習会「空力騒音の基礎講座 騒音計測・数値解析と鉄道/自動車の応用事例」	2025. 12. 8
31	協賛 (公社) 低温工学・超電導学会	第110回 2025年度秋季 低温工学・超電導学会研究発表会	2025. 12. 9～11
32	協賛 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム	大阪 HITEC 解散記念シンポジウム	2025. 12. 11
33	協賛 (一社) 日本機械学会	第27回スターリングサイクルシンポジウム	2025. 12. 13
34	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	食品冷凍基礎技術実習 ～凍結点・凍結必要時間の測定と応用～	2025. 12. 19
35	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	第61回食品冷凍技術懇談会	2026. 1. 19

36	協賛（一社）日本冷凍空調工業会	HVAC&R JAPAN2026（第44回冷凍・空調・暖房展）	2026.1.27～30
37	協賛再生可能エネルギー協議会	第19回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム	2026.1.28～30
38	協賛（一財）省エネルギーセンター	ENEX2026「第50回地球環境とエネルギーの調和展」	2026.1.28～30
39	協賛（公社）空気調和・衛生工学会	令和7年度セミナー「建築設備分野におけるAI・DX活用の最新事例」	2026.2.17
40	協賛（一社）日本機械学会	No.26-40講習会 機械学習×熱・流体工学の最先端	2026.3.3
41	協賛（公社）日本工学会	第6回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム	2026.3.4
42	後援（公社）空気調和・衛生工学会 東北支部	東北支部第15回学術・技術報告会	2026.3.10
43	後援 AiCARR (Associazione Italiana Condizionamento dell' Aria, Riscaldamento, Refrigerazione) イタリア空調・暖房・冷凍協会	54th AiCARR International Congress	2026.3.25～26
44	協賛（一社）日本設備設計事務所 協会連合会、（一社）電気設備学会	令和8年建築設備士第一次・第二次試験受験準備講習会	2026.4月～7月
45	協賛（公社）空気調和・衛生工学会	令和8年度初級技術者のための研修会	2026.4.13～17
46	協賛（公社）日本空気清浄協会	第43回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	2026.4.21～22
47	協賛（一社）食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	調理冷凍食品技術セミナー	2026.4.21, 10.13
48	協賛（公社）空気調和・衛生工学会	令和8年度中堅技術者のための研修会	2026.5.13 ～2027.2.24
49	協賛（株）食品化学新聞社	ifia JAPAN 2026 および HFE JAPAN 2026	2026.5.27～29
50	協賛（公社）低温工学・超電導学会	第111回 2026年度春季低温工学・超電導学会研究発表会	2026.6.2～4
51	協賛（一社）日本機械学会	第30回動力・エネルギー技術シンポジウム	2026.6.4～5
52	協賛（公社）空気調和・衛生工学会	令和8年度初級技術者のためのステップアップ研修会	2026.6.11～12
53	協賛（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター	ヒートポンプ・蓄熱月間	2026.7.1～31
54	協賛（一社）日本機械学会	第36回環境工学総合シンポジウム2026	2026.7.29～31
55	協賛（一社）日本エネルギー学会	第35回日本エネルギー学会大会	2026.8.5～7
56	協賛日本混相流学会	混相流シンポジウム2026	2026.8.31～9.2

2) 令和7年度に開催した、共催、協賛をいただいた行事

① セミナー、シンポジウム

NO.	行事名	依頼団体	開催日
1	テキスト「改訂 食品冷凍技術」を読み解く	協賛：（一社）食品冷凍技術推進機構	2025.4.15～ 8.15

2	第58回空気調和・冷凍連合講演会	協賛：(一社)エネルギー・資源学会，(公社)化学工学会，(一社)可視化情報学会，(公社)計測自動制御学会，高圧ガス保安協会，(公社)低温工学・超電導学会，(一社)電気設備学会，(公社)土木学会，(一社)日本エネルギー学会，(一社)日本音響学会，(公社)日本空気清浄協会，(一社)日本原子力学会，(一社)日本建築学会，日本混相流学会，(一社)日本太陽エネルギー学会，(一社)日本鉄鋼協会，(公社)日本伝熱学会，日本熱物性学会，(一社)日本燃焼学会，日本ヒートアイランド学会，(一社)日本ボイラ協会，(一社)日本流体力学会	2025. 4. 16～ 4. 17
3	最新技術セミナー2024年度省エネ大賞，技術の決め手はこれだ!	共催：(一社)近畿冷凍空調工業会 協賛：(一財)省エネルギーセンター	2025. 4. 22
4	冷凍空調入門講習会	協賛：(一社)日本冷凍空調設備工業連会	2025. 5. 14
5	初級冷凍空調講習会(名古屋)	協賛：(一社)中部冷凍空調設備協会	2025. 6. 26～ 6. 27
6	「初心者向け冷凍食品セミナー」	協賛：(一社)日本冷凍食品協会 協賛：(一社)食品冷凍技術推進機構	2025. 7. 11
7	冷凍空調初級ガイダンス講習会	協賛：(一社)日本冷凍空調設備工業連会	2025. 8. 6～8. 7
8	西日本地区さろんセミナー	協賛：(一社)西日本冷凍空調工業会	2025. 8. 7
9	実用冷凍空調講座(空調編)	共催：(一社)近畿冷凍空調工業会	2025. 9. 3～9. 4
10	2025年度日本冷凍空調学会年次大会	協賛：(一社)エネルギー・資源学会，(公社)化学工学会，(一社)近畿冷凍空調工業会，(公社)空気調和・衛生工学会，(一社)建築設備技術者協会，高圧ガス保安協会，(一財)省エネルギーセンター，(一社)中部冷凍空調設備協会，(公社)低温工学・超電導学会，低温生物工学会，(一社)西日本冷凍空調工業会，(一社)日本エネルギー学会，(一社)日本機械学会，(公社)日本技術士会，(一社)日本建築学会，日本混相流学会，(公社)日本食品科学工学会，(一社)日本食品工学会，(一社)日本食品保蔵科学会，(公社)日本水産学会，日本潜熱工学会，(一社)日本太陽エネルギー学会，(公社)日本畜産学会，(一社)日本調理科学会，(公社)日本伝熱学会，日本熱物性学会，(公社)日本農芸化学会，日本ヒートアイランド学会，(一社)日本冷凍空調工業会，(一社)日本冷凍空調設備工業連合会，(一社)日本冷凍食品協会，(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター，アメリカ暖房冷凍空調学会，大韓設備工学会，中国制冷学会，台湾冷凍空調学会	2025. 9. 9～ 9. 12
11	第一種冷凍機械国家試験対策講習会	協賛：(一社)日本冷凍空調設備工業連合会	2025. 9. 16～ 9. 18
12	実用冷凍空調講座(冷凍編)	共催：(一社)近畿冷凍空調工業会	2025. 9. 17～ 9. 18

13	第二種冷凍機械国家試験対策講習会	協賛：(一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2025. 9. 29～ 10. 1
14	フリーズドライ食品の技術動向と市場展望	共催：(公社) 日本冷凍空調学会 冷凍技士運営委員会 協賛：(一社) 食品冷凍技術推進機構	2025. 10. 14
15	冷凍空調業界における AI 画像解析の活用事例	協賛：(公社) 空気調和・衛生工学会, (一社) 日本機械学会	2025. 10. 15～ 11. 15
16	2025 年度近畿地区シンポジウム	協賛：(一社) 近畿冷凍空調工業会	2025. 11. 13
17	技術セミナー (西日本地区)	協賛：(一社) 西日本冷凍空調工業会	2025. 11. 21
18	熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用	協賛：(一社) 日本機械学会, (公社) 空気調和・衛生工学会, (公社) 化学工学会, (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	2026. 1. 13
19	食品冷凍の基礎～食品冷凍講習会	共催：冷凍食品技術研究会(西日本) 協賛：(一社) 日本冷凍食品協会・(一社) 日本食品機械工業会・(一社) 食品冷凍技術推進機構	2026. 1. 14～ 2. 14
20	ヒートポンプ技術の最新動向	協賛：(一社) 日本エレクトロヒートセンター, (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	2026. 1. 26
21	冷凍空調技士 (一種・二種) 受験準備講習会	協賛：(一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2026. 2. 1～ 2. 14
22	高効率ヒートポンプセミナー	協賛：(一社) 中部冷凍空調設備協会	2026. 2. 19
23	最新の冷媒問題への対応と展望 2025	協賛：(公社) 空気調和・衛生工学会, (一社) 日本冷凍空調工業会, (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会, (一財) 日本冷媒・環境保全機構	2026. 2. 27
24	冷凍空調入門講習会【再配信】	協賛：(一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2026. 3. 2～ 3. 16
25	冷凍空調初級ガイドンス講習会【再配信】	協賛：(一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2026. 3. 16～ 3. 29

② 見学会

NO.	行事名	依頼団体	開催日
1	九州産業大学 大楠アリーナ 2020 施設見学会	協賛：(一社) 西日本冷凍空調工業会	2025. 5. 21
2	新世代植物工場と先進的な研究の紹介～宇宙環境への展開・DX 技術の導入～ (見学会&特別セミナー)	共催：(一社) 近畿冷凍空調工業会, 協賛：(公社) 空気調和・衛生工学会 近畿支部	2026. 1. 14